

大妻同窓会愛知だより

同窓会愛知

会報 第29号

令和5年5月吉日発行

90周年総会の思い出

大妻同窓会愛知七代支部長 坂田信子

同窓会90周年を無事に済ませました。

私は、前任者から引き継ぎ16年支部長を務めました。愛知支部は昭和7年に設立。故に本部総会では愛知支部が最初に紹介されます。

これまで春の総会、秋の親睦会と年2回の集いを行ってきました。

創立者の大妻コタカ先生をお母さまとお呼びしていたことは忘れられない思い出です。有志支部長と旅行にも行き、交流を深めました。同窓会を通じて多くのことを学ばせていただきました。

清水さんにバトンタッチし、今年は、安達さんへと九代目となります。

これからも同窓会愛知は、明るく健全な交流な場として益々の発展を期待しています。

総会参加の皆様からの一言

- ※今日はありがとうございました。坂田さんをはじめ皆様に久しぶりにお会いでき楽しかったかったです。オカリナ演奏も良かったです。
- ※役員の皆様ありがとうございます。次回も続きますように・・・よろしくお祈りします。
- ※若い方の参加されることを望んでいます
- ※卒年が違って昔からの友人のようにお話しすることができあたたかでアットホームなところが愛知の良さですね。
- ※名古屋に転居して知り合いが少なく心細い気分でしたが、誘われ参加し、年上の方々とも知り合え楽しい交流の場となりました。今後よろしくお祈りします。

当日参加者【17名】



名古屋マリオットホテルにて



西村麻衣子 オカリナ演奏

2022年大妻同窓会愛知会計報告

(2022年4月1日~2023年3月31日)

令和5年度の行事

～コロナ禍も落ち着き喜楽に外出できるようになりました。皆様方との再会を楽しみにしています～

❀ 「大妻同窓会愛知」総会 ❀

(日 時) 令和5年5月21日(日) 11時30分～14時30分(受付11時)
(場 所) 名鉄グランドホテル12F「蘭の間」
(会 費) 5,000円(食事含む)

- ☆ お願い：
- * 同封の葉書にて 5月10日【必着】までに出席のお返事を
お願いいたします(電話でのご連絡も可 清水 まで
※18時以降にお願いします)
 - * 今後、同窓会等の便りが不要の場合は返信用葉書にて
ご記入をお願いいたします。

❀ 秋の行事予定 ❀

2023 秋のつどい「信長・岡崎散策」 予定

～信長の出生地を地元の同窓生の方に案内していただけます。今からワクワク・・楽しみ～

新役員からの一言

“幸せ (Happy) の語源は出会い (Happen) ”

「同窓会でいろいろな方々と出会い、豊かな時間を共に過ごしましょう。非戦の世界の実現を」・・・あだち
「“把手共行” 心強い仲間はすぐそばに。・・・この会に参加し学生時代を思い返しています」・・・・たなべ
二人ともニューフェイスです。皆様方のご協力・ご指導よろしく申し上げます。

【卒業後初めて同窓会に参加して】

まだ女性が社会の中で働くことが少数派の時代、自分だけの力で生きてみたいと思い
誰も知り合いのない名古屋で教員生活がスタートしました。そこで出会った衝撃は、女性蔑視、差別の世界でした。学校では
教科差別、家では嫁、ただの五文字、「おんな、よめ」でしか価値のない人間そこには血の通った視点「個」がない時代を体
験。東京では何不自由のない大学生活「ごきげんよう」と挨拶を交わし何事も素直に受け止めた生活が一変してしまいま
した。教師、嫁、母、妻の四役を生き抜く中で、出会った多くの人々に支えて頂き、一杯学ばせて頂きました。いのちに向き合
い、差別をしない、弱者側に立つ生き方、基本的人権の尊重を目標として歩んできました。

個が軽んじられ犠牲の色濃い「良妻賢母」が根付いている私は日常生活の中での矛盾、揺れ動く両面、同窓会とは距離をお
いてきました。退職後毎年、欠かさずお誘いの便りが届く同窓会に出てみようと思い軽い気持ちで参加しました。そこで私を待っ
ていたのは、何とも言えないふわふわした空気、ふるさとに帰ってきたかのような安堵感に包まれました。ご高齢の方も学生
に戻ったように若々しく語る、一点の共通がもつ力なんでしょうか。社会背景と向き合う体験の中で、良妻賢母の前に「個」
の自分らしく、輝いて生きる選択、犠牲ではなく、主体的に取り入れた生き方が素晴らしいのではないかと思います。同窓
会に参加して教えを受けてきた教訓が自分の中で納得してすっきりしました。コタカ先生が「解かりましたか 良かったです
ね」と笑顔で語って下さっている気がします。ピートルズが目の前を通り奇声を上げた学生時代から45年以上もたってしま
した。名古屋の同窓生の皆様ありがとうございました。 2014.総会に参加して――葉

朝岡すみ子・・・

二〇二二年二月二二日に心臓の手術をしました。二十年無事に過ごすことができ何よりと思っていた矢先、検診で乳がんが見つかり偶然ですが、二〇二二年二月二二日に手術を受けました。医師の的確で丁寧な説明を受け不安なく冷静に病気を受け留めることができました。病気の違いはあれど医学の進歩を身をもって感じています。病気などしない方が良いですが、得るものもあります。「日々是好日」が、私のバイブルです。新た得て、毎日がかけがえのない日。思い付きでもよいから好奇心をもって、躊躇なく、行動しようと思う毎日です

沖春代・・・

コロナの多い時を除き月一回の旅行を生き甲斐に生活しています。体力の続く限り行きたいと思えます。また近くに住む娘が仕事と子育てに忙しいので、副菜を届けています。こちらは孫が入学するまであと二年頑張ります。

加納曜子・・・

コロナで「浦島太郎」の世界のように世の中が変わってしまい不安を多く感じますがその中で私事です。長男が結婚、父との別れ、そして初孫誕生と三年間でいろいろありました。今は九十七歳の母と一歳孫との守役で年齢のギャップを感じながら四世代同居の日々の生活が送れることに感謝感謝です。

清水美知子・・・

まだまだ冷たい風が残る三月上旬、梅の花が散りかけ様とする頃、「ホーケキョ」と思わず笑いそうな鳴き声に心癒されました。九十一周年目、繋ぐ意識が会を繋げ、一人ひとりがつながる「同窓会愛知」のさらなる歩みを願っております。

横山千春・・・

主人の退職を機に千葉から名古屋に越してきて、十五年程になります。六十才を前に新しい土地に馴染めるか、友人はできるのかなど心配していました。友人の誘いで同窓会の総会に出席しました。それ以来ずっと役員として関わっています。今では三十年以上続きた卓球でも仲間もたくさんでガイドヘルパーの資格もとって視覚障害者の方のお手伝いもしています。今のところ、介助する立場にある日々感謝しております。

訃報

お悔やみ申し上げます

畠山孝子様 (三二年卒)
一柳芳子様 (三一年卒)



令和5年度大妻同窓会愛役員 (案) (敬称略)

顧問	坂田 信子
代表	安達よう子
副代表	清水美知子
副代表	横山 千春
書記	朝岡すみ子
書記	沖 春代
会計	田辺 理絵
会計監査	加納 曜子
幹事	大西真理子
幹事	竹内 晶代

あなたのに聞いてもらいたい
あなたに読んでもらいたい
あなたに歌ってもらいたい
あなたに信じてもらいたい

一本の鉛筆があれば
私はあなたへの愛を書く
一本の鉛筆があれば
戦争はいやだと私は書く

あなたに愛をおくりたい
あなたに夢を送りたい

一枚のザラ紙があれば
私は子供が欲しいと書く
一枚のザラ紙があれば
あなたを返してと私は書く

一本の鉛筆があれば
八月六日の朝と書く
一本の鉛筆があれば
人間のいのちと私は書く

「一本の鉛筆」作詞松山善三
(唄美空ひばり)